

学習教育到達目標とJABEE基準の科目対応表【平成29年度以降入学者用】(大項目1-A~3-C)

応用分子化学科 DP	学習・教育到達目標		(a)地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	(b)技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解	(c)数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを用いる能力	(d)当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを用いる能力			(e)種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	(f)理論的な記述力、口頭発表力、討論等のコミュニケーション能力	(g)自主性、継続的に学習する能力	(h)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	(i)チームで仕事をするための能力
	大項目	小項目				(1)工学基礎	(2)化学工学基礎	(3)専門基礎					
DP1 豊かな教養と自然科学・社会科学に関する基礎知識に基づき、応用分子化学分野に関わる技術者としての倫理観を高めることができる。	1-A 豊かな教養と自然科学・社会科学に関する基礎知識に基づき、化学及び関連のエンジニアリング分野に関わる技術者としての倫理観を高めることができる。	1-A-① 技術者に必要な豊かな教養と自然科学・社会科学の基礎知識ならびに情報処理技術を理解できる。	教養課題研究(S) 技術者倫理(S) 芸術と文学(S) 歴史学(S) 心理学(S) 科学基礎論(S) 社会学(S) 政治経済論(S) 国際関係論(S) 比較文化論(S)		微積分学Ⅰ(S) 微積分学Ⅱ(S) 線形代数学(S) 物理学(S) 確率統計(S) 生物環境科学(S) 情報リテラシー(S) 化学情報処理演習(S)	応用物理学(S) 確率統計(S) 生産管理(S)							
		1-A-② 化学及び関連のエンジニアリング分野に関わる技術者としての責任を認識して行動できる。	安全工学(S) 技術者倫理(S) 生産実習(S) 経営管理(S) 産業関連法規(S) 科学基礎論(S) 法学(S)										
DP2 国際的視野から、応用分子化学の観点に基づいて必要な情報を収集・分析し、自らの考えを説明することができる。	2-B 国際的視野から多面的に必要な情報を収集・分析し、化学及び関連のエンジニアリング分野に関わる事象について自らの考えを説明することができる。	2-B-① 国際的視野に基づいた情報の収集・分析に必要な人文・社会科学の基礎知識を理解できる。	社会学(S) 政治経済論(S) 法学(S) 国際関係論(S) 比較文化論(S) 経営管理(S)										
		2-B-② 公共の福祉、環境保全、経済性などの社会的要求に関連する情報を多面的に収集・分析し、化学及び関連のエンジニアリング分野における問題発見に活用できる。	無機資源化学(S) 有機資源化学(S) 化学プロセスデザイン(S) グリーンケミストリー(S) 応用分子化学実験Ⅲ(S) 応用分子化学演習Ⅲ(S) 卒業研究(S)										
DP3 応用分子化学を体系的に理解して得られる情報を基づき、理論的な思考・批判的な思考をすることができる。	3-C 化学及び関連のエンジニアリング分野において必要とされる専門的知識に基づき、解決すべき問題に対して理論的な思考・批判的な思考をすることができる。	3-C-① 化学及び関連のエンジニアリング分野に関わる事象の説明・考察に必要な専門的知識を理解できる。				化学数学(S) 化学情報処理演習(S)	化学工学Ⅰ(S) 化学熱力学(S) 化学動力学(S) 応用分子化学実験Ⅱ(S) 応用分子化学演習Ⅱ(S)	基礎無機化学(S) 無機化学Ⅰ(S) 無機化学Ⅱ(S) 分析化学Ⅰ(S) 分析化学Ⅱ(S) 基礎有機化学(S) 基礎物理化学(S) 高分子化学(S) 生物化学(S) 応用分子化学実験Ⅰ(S) 応用分子化学演習Ⅰ(S) 応用分子化学実験Ⅱ(S) 応用分子化学演習Ⅱ(S)					
		3-C-② 解決すべき課題の中で化学及び関連のエンジニアリング分野に関わる事象について専門的観点から論理的・批判的に考察できる。	無機資源化学(S) 有機資源化学(S) グリーンケミストリー(S) 生産実習(S)	化学工学Ⅱ(S) 分離工学(S) プロセス工学(S) 化学プロセスデザイン(S) 応用分子化学実験Ⅲ(S)	無機材料工学(S) 量子化学(S) 電気化学(S) 界面化学(S) 高分子材料工学(S) 有機化学Ⅰ(S) 有機化学Ⅱ(S) 有機化学Ⅲ(S) 分子構造解析学(S) 分子生物学(S) 生物工学(S) 応用分子化学実験Ⅲ(S) 応用分子化学演習Ⅲ(S) 化学プロセスデザイン(S) 卒業研究(S)								

※ゴシックは必修科目

学習教育到達目標とJABEE基準の科目対応表【平成29年度以降入学者用】(大項目4-D~8-H)

応用分子化学科 DP	学習・教育到達目標		(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解	(c) 数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを活用する能力	(d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力			(e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	(f) 理論的な記述力、口頭発表力、討論等のコミュニケーション能力	(g) 自主性、継続的に学習する能力	(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	(i) チームで仕事をするための能力	
	大項目	小項目				(1) 工学基礎	(2) 化学工学基礎	(3) 専門基礎						
DP4 生産工学及び応用分子化学に関する視点から、新たな問題を発見し、解決策をデザインすることができる。	4-D 生産工学と化学及び関連のエンジニアリング分野に関する視点から、解決すべき問題を発見し、それらを論理的に特定、整理、分析し、解決策をデザインして遂行できる。	4-D-① 生産工学と化学及び関連のエンジニアリング分野に関する視点から、解決すべき問題を発見し、それらを論理的に特定、整理、分析し、解決策をデザインできる。							自主創造の基礎1(S) 自主創造の基礎2(S) 物理学実験(S) 化学・生物実験(S) 応用分子化学実験 I (S) 応用分子化学演習 I (S) 応用分子化学実験 II (S) 応用分子化学演習 II (S) 化学情報処理演習(S) 応用分子化学実験 III (S) 応用分子化学演習 III (S) 化学プロセスデザイン(S) 卒業研究(S)					
		4-D-② 制約条件を考慮して計画的に仕事を進め、遂行できる。										安全工学(S) 産業関連法規(S) 生産管理(S) 応用分子化学実験 I (S) 応用分子化学演習 I (S) 応用分子化学実験 II (S) 応用分子化学演習 II (S) プロジェクト演習(S) 応用分子化学実験 III (S) 応用分子化学演習 III (S) 化学プロセスデザイン(S) 卒業研究(S)		
DP5 生産工学の視点から、適切な目標と手段を見定め、新たなことに挑戦し、やり抜くことができる。	5-E 生産工学の視点から、適切な目標と手段を見定め、新たなことに挑戦し、やり抜くことができる。	5-E-① 設定した課題の解決に向けて、主体的に問題点の抽出と解決を図りながら継続的に行動できる。									自主創造の基礎1(S) 自主創造の基礎2(S) 応用分子化学実験 III (S) 応用分子化学演習 III (S) プロジェクト演習(S) 生産実習(S) 経営管理(S) 卒業研究(S)			
DP6 多様な考えを受け入れ、適切な手段で自らの考えを伝えて相互に理解することができる。	6-F 多様な考えを受け入れ、適切な手段で自らの考えを伝えて相互に理解することができる。	6-F-① 適切なコミュニケーション手段を活用し、自らの考えを論理的に伝えるとともに他者の考えを理解することができる。							自主創造の基礎1(S) 自主創造の基礎2(S) 応用分子化学実験 I (S) 応用分子化学実験 II (S) 化学プロセスデザイン(S) 応用分子化学実験 III (S) 応用分子化学演習 III (S) フラグメントリングリッシュ I A(S) フラグメントリングリッシュ I B(S) フラグメントリングリッシュ II A(S) フラグメントリングリッシュ II B(S) フラグメントリングリッシュ III (S) フラグメントリングリッシュ IV (S) キャリアハイスイングリッシュ I (S) キャリアハイスイングリッシュ II (S) 化学英語 I (S) 化学英語 II (S) 化学英語 III (S) 卒業研究(S)					
DP7 チームの一員として目的・目標を他者と共有し、達成に向けて働きかけながら、協働することができる。	7-G チームの一員として目的・目標を他者と共有し、達成に向けて働きかけながら、協働することができる。	7-G-① チームの一員として目的・目標を他者と共有し、自己と他者の取るべき行動を的確に判断しながら、効果的に機能するチームを構築できる。											物理学実験(S) 化学・生物実験(S) 教養課題研究(S) 自主創造の基礎1(S) 自主創造の基礎2(S) 応用分子化学実験 I (S) 応用分子化学実験 II (S) プロジェクト演習(S) 化学プロセスデザイン(S) 応用分子化学演習 III (S) 応用分子化学実験 III (S) 卒業研究(S)	
DP8 経験を主観的・客観的に振り返り、気づきを学びに変えて継続的に自己を高めることができる。	8-H 経験を主観的・客観的に振り返り、気づきを学びに変えて継続的に自己を高めることができる。	8-H-① 自主的、継続的な学習によって獲得した能力を検証・評価して自己を高めることができる。									自主創造の基礎1(S) 自主創造の基礎2(S) キャリアデザイン(S) キャリアデザイン演習(S) 技術者倫理(S) 生産実習(S) 卒業研究(S)			

※ゴシックは必修科目